



他職種連携で支える災害医療 身につけるべき知識・スキル・対応力

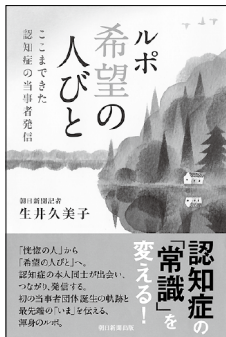
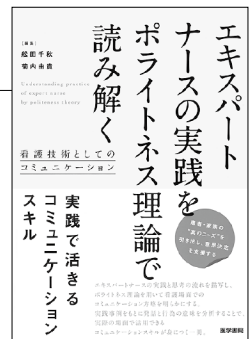
編著：小井戸雄一・石井美恵子／医学書院
定価：2700 円＋税／TEL：03-3817-5657

●東日本大震災から6年、貴重な実災害例をもとに、医療・看護の世界でも、さまざまな検証が蓄積されてきた。本書は本誌に2013年9月から1年半にわたって連載された「ひろがる災害医療と看護」の記事から今後に生かすべき普遍的な内容を精選し、さらに多職種による多角的知見を加え、編集された。地域から地方自治体・国に至るまでの「面」を視野に、医療関連職による初期対応から長期にわたる住民ケアへの「時間」軸を考えにいたれた「これからの災害医療」を解説する。

エキスパートナーズの実践をポライトネス理論 で読み解く——看護技術としてのコミュニケーション

編：船田千秋・菊内由貴／医学書院
定価：2800 円＋税／TEL：03-3817-5657

●英語で、礼儀正しさ、丁寧さ、慰撫、という行為や行動を意味する“ポライトネス (Politeness)”を、エキスパートナーズの実践と思考の流れの分析に用いた「ポライトネス理論」。患者（＝対話の相手）を尊重しつつ、良好なコミュニケーションを保ち、そのニーズを知り、適切な看護実践へとつなぐ、その方略を明らかにする。看護実践を言語学的視点で分析することで、あらゆる場面で応用できるコミュニケーションスキルが身につく1冊。



ルポ 希望の人びと ここまできた認知症の当事者発信

著：生井久美子／朝日新聞出版
定価：1500 円＋税／TEL：03-5540-7793

●「痴呆症」から「認知症」への名称変更から13年、小説『恍惚の人』が社会に衝撃を与えてから45年。いま、認知症の当事者の発信する言葉とその思いは、病気に対する人々の“常識”を変え、社会を変えようとしている。決して平坦ではなかった道程と、いま「希望の人びと」である彼らを等身大でレポートする。「希望の人びと」の生き方が、これから先の生きやすい社会のあり方に重なるようにと祈りたい。

対面的：〈見つめ合い〉の人間学

著：大浦康介／筑摩書房
定価：2900 円＋税／TEL：03-5687-2680

●人は向かい合った人の顔をリングのように見つめられない。誰かと見つめ合ったとき、人はある「磁場」にとらえられる。この磁場はフェアプレイヤールールを呼び起こす「倫理的」なものでもある一方で、相手がどのような反応をするか、生き物としての緊張を強いる「動物的な」ものでもある。現代哲学や動物行動学、筆者の日常などのさまざまなアプローチから、人と人が向き合う、見つめ合うことの不思議と魅力を逡巡、探索、追求する73の断章。

